

光市医師会報

平成元年 2月号

No. 196



寒風に走る

光市医師会

医師会月間行事

平成元年1月度理事会

1月10日(火) 午後7時30分～

光市医師会館

出席者：竹中会長、福本副会長

富恵・丸岩・梅田・赤崎・近藤

藤原・吉村理事

議 題 (報告・協議事項)

- 1) 三種混合の医療機関接種について
(竹中会長)
 - 2) 税務講習会について (竹中会長)
 - 3) 本年度中(3月迄)の事業実施計画について
(竹中会長)
 - 4) 平成元年度要望事項について
(福本副会長)
 - 5) 文書料等申し合わせについて
(福本副会長)
 - 6) 市立病院検査料金について
(福本副会長)
 - 7) 平成元年度休日診療当番医について
(丸岩理事)
 - 8) 新年互礼会について (梅田理事)
天皇陛下崩御にともない、今年度は中止する。
 - 9) 光市医師会収支決算報告(4月～12月)
(藤原理事)
 - 10) その他
子宮癌検診の件
(1月～3月事業実施計画)
- 1月20日(金) 心電図研究会
24日(水) 月例会：税務講習会
2月17日(金) 心電図研究会

19日(日) 山口県生涯研修セミナー
研修バス運行

21日(火) 月例会、光市・下松医師会
医学研修会

23日(木) 光市学校医研修会

3月17日(金) 心電図研究会

23日(木) 月例会(夕食付き)

光市医師会・光市担当課との協議会

1月26日(木) 午後1時30分～2時30分

光市保健センター

出席者

(光市医師会)

竹中会長、福本副会長、富恵理事

(光市)

市民部長、保健センター所長

教育委員会、保健婦

周南医療圏における地域医療懇談会

1月27日(金) 午後7時～

徳山丸福ホテル

出席者

(光市医師会) 竹中会長、丸岩理事

懇談事項

- 1) 夜間の救急医療について
- 2) その他

心電図研究会 (第7回)

(下松・光市医師会共同)

1月20日(金) 午後7時30分～

光市立病院講義室

演 題 「心電図の読み方」

講師 徳山中央病院 河野隆文先生
河野先生・赤崎先生による症例の解説

研修会

1月25日(水) 午後7時30分～
光市医師会館

研修項目 昭和63年度確定申告に備えて」
講師 光税務署統括国税調査官
三好和彦氏



平成元年1月度月例会

1月25日(水) 研修会終了後～
光市医師会館

議題 (報告・協議事項)

- 1) 1月～3月迄の事業予定について
(竹中会長)
- 2) 文書料等参考料金について
(福本副会長)
- 3) 学校医研修会について (福本副会長)
- 4) その他
 - イ) 医療法人制度の運用について
 - ロ) 特定疾患治療研究事業にかかる診断票の一部改正について
 - ハ) B型肝炎ワクチン接種費用の医療費控除の取扱いについて
- 二) 第11回生涯研修セミナーについて

県医師会・関連行事出席

結核審査会—1月19日、徳山保健所
福本副会長出席

昭和63年度

光市児童生徒の集団心臓検診

結果報告

昭和63年度心臓検診最終結果

小学校	一次検診	二次検診	異常なし又は管理不要	要管理
牛島小	0人	0	0	0
室積小	86	2	0	2
光井小	86	1	1	0
島田小	53	0	0	0
浅江小	165	7	6	1
上島田小	26	0	0	0
三井小	59	0	0	0
周防小	25	0	0	0
附属小	82	1	0	1
計	582	11	7	4
%	100%	1.89%	1.20%	0.69%

中学校	一次検診	二次検診	異常なし又は管理不要	要管理
牛島中	3人	0	0	0
室積中	144	7	4	3
光井中	124	2	0	2
島田中	221	4	1	3
浅江中	254	11	4	7
附属中	123	3	1	2
計	869	27	10	17
%	100%	3.11%	1.15%	1.96%

小中学生計	1,451人	38人	17人	21人
人	100%	2.62%	1.17%	1.45%

心臓検診による要管理者の病名別分類

(昭和63年度検診者のみ)

病名	小学生	中学生	計
心房中隔欠損症術後	0人	1人	1人
心室中隔欠損症術後	0	5	5
動脈管開存症術後	0	1	1
心室中隔欠損症	2	0	2
上室性期外収縮	0	1	1
心室性期外収縮	0	1	1
心室内伝導遅延	0	1	1
完全右脚ブロック	1	2	3
右横隔神経麻痺	0	1	1
WPW症候群	0	2	2
三尖弁逆流	0	1	1
川崎病(冠動脈瘤)	1	0	1
心不全	0	1	1
計	4人	17人	21人

集団心臓検診実施方法

(1)実施方法

光市内 小学1年生 578名
 中学1年生 860名
 他の学年で校医が必要と認めた者 13名
 計 1,451名

一次検診(無料)……1,451名
 アンケート調査・校医の聴打診・心電図(12誘導)
 二次検診(有料)……38名(2.6%)
 心エコー図・胸部X-P等
 要管理……21名(1.4%)

(2)実施時期及び実施場所

昭和63年6月13日～6月22日迄 7日間
 各小・中学校の保健室
 山口県予防保健協会に依頼(心電計 2台)

旅の思い出(ハンガリー)

前田昇一

8年前の6月、私が大分医大に在籍中、第12回世界耳鼻咽喉科学会議がハンガリーの首都ブタペストで開催された。3000名参加の大集会で、共産圏での集会は、めずらしいこともあり、日本からは300名もの大集団で、その一員として加わった。見るもの聞くもの皆、目新しく新鮮に今も思い出される。ブタペストは、Duna河(ドナウ河)の両岸に広がる人口約200万(ハンガリー全人口の%)の今まで味わったことのない不思議な雰囲気を与えてくれる大都市であった。

中でも19世紀の都市のたたずまいを残していると言うブタペスト側の中心地(イナー・シティ)を結ぶエリザベス橋、ランチード橋やマルギット橋などに代表される美しい橋と両岸に沿って立ち並ぶ伝統的建造物が醸し出すハーモニーは実にすばらしいものがあつた。何回も他民族の侵略と圧制をうけた悲劇の時代をのりこえ、今日の社会体制を整えて来た歴史の重みとでも云ったらよからうか。山の手にあたるブタ地区と下町にあたるペストは、河を挟んで各々に特徴的なたたずまいがあつた。ピルの立ち並ぶペストの街には、あちこちで果物や野菜売りなどの行商人も見られ賑やかであるが建物は古めかしく、近代的な街並とはいえない中世の面影を残しているようで、人々はむしろ、それを誇りに思つて守つていふように見えた。また聞きではあるが、当時の杉原駐ハンガリー大使によると、ブタペストは「つつましくも豊かな社会主義の国」ハンガリーの顔なのであろう。

学会の緊張から解かれ、足の向くまま気の向くまま、市内を市電やバスや地下鉄に乘ったり、郊外へ汽車にも乗って見た。ラッシュの混雑が少なく、運賃も安く、交通網はよく整備され便利であった。特に市内はどこまで行っても1フォリント(当時7円)には驚いた。タクシーも多く、チェコ製のLadaと云って1500ccクラスのカローラに似ていた。地下鉄の駅へのエスカレーターは長く深く、直ぐにでも地下壕になりそうであった。地下鉄や駅での写真は御法度。某氏は駅で写真をとって、しばらくポリスに連行され所持品をチェックされたとか。

怖い一面もあった。一般市民の言葉はMagyar(マジャール)語で、英語も独語もフランス語もだめで、ロシア語の教育をうけていると聞いたが、もっぱら、日本語とジェスチャーが一番よく通じ、英語の達人なM教授にも語学コンプレックスを感じなくてすんだ。

食物は、思ったより豊かなようであった。
○新鮮な野菜と果物は種類も多くおいしい
○海のない国のため魚は食べられないと思ったが、バラトン湖地方でとれる白身の魚で切身をカラ揚げにしたホワイトソースをかけた料理とバラトンワイン(ドイツ系ライン風とか)は、民俗舞踊とジプシー音楽を聴きながらの夕食に欠かせない絶品であった。

街のいたる所に、TOTOとかLOTTOと云大きな広告の看板を見かけた。何かと思っていたが、TOTOは、サッカーの国営トトカルチョ。LOTTOは国営の宝くじのことであった。1枚5フォリント(35円)で、1等が当れば何と200万フォリント(1400万円)郊外の土地付一戸建が100万フォリント、一

般庶民の月給が4000フォリントと云うから大金である。駄文を書くうちに所定の枚数を越えましたので、「今宵はここまでといたしとう存じます」。機会があれば、また行って見たい国である。



第4回光医歯会ゴルフコンペ

1月29日 於周南 CC

Name	Out	In	Gross	HD	Net	Order
河内山	50	46	96	16	80	4位
横山	47	40	87	10	77	優勝
須賀	51	56	107	36	71	
竹中	56	48	104	24	80	5位
守田	52	44	96	13	83	8位
前田	52	48	100	19	81	6位
平田	43	51	94	14	80	3位
藤村	45	46	91	8	83	7位
光武	46	48	94	10	84	9位
森本	47	41	88	11	77	2位
兼清	48	51	99	26	73	

＝ 編集後記 ＝

「大喪の礼」が間近になって参りました。昭和63年度市内小中学生の心臓検診の結果を、福本先生がまとめられた報告書より抜粋し掲載いたしました。

前田先生にいただいた原稿を読んでいて医師会旅行をハンガリーでと夢のような事を考えています。

今年はとにかく暖冬です。暖冬の年は凶作と諺に云われているようです。異常気象で体調を崩さないように気をつけたいものです。
(吉村)

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	竹中昭二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社